

**製品名: PAR-3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab15745**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	F2RL2
別名	F2RL2; PAR3; Proteinase-activated receptor 3; PAR-3; Coagulation factor II receptor-like 2; Thrombin receptor-like 2
遺伝子 ID	2151.0
SwissProt ID	O00254
免疫原	抗血清はヒト F2RL2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 38-87

**背景**

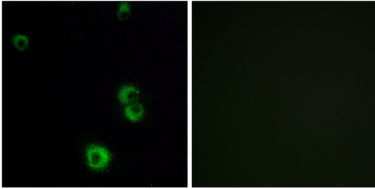
この遺伝子は、7つの膜貫通型 G タンパク質共役型細胞表面受容体ファミリーのサブファミリーであるプロテアーゼ活性化受容体

(PAR) ファミリーのメンバーをコードしています。コードされているタンパク質は、プロテアーゼ活性化受容体ファミリーのメンバーである PAR4 のトロンピンを介した切断および活性化における補因子として作用します。コードされているタンパク質は、止血および血栓症において重要な役割を果たします。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2012年2月],機能: ホスホイノシチド加水分解を刺激する G タンパク質に結合した活性化トロンピンの受容体。 ,PTM: タンパク質分解による切断により、連結リガンドとして機能する新しい N 末端が生成される。 ,類似性: G タンパク質結合受容体 1 ファミリーに属する。 ,サブユニット: INSC/inscuteable およびおそらく GPSM2 と相互作用する。 ,組織特異性: 骨髄の巨核球で最も高く発現し、成熟巨核球、血小板、心臓や腸などのさまざまな他の組織では低い。 ,

## 研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

## 画像データ



F2RL2 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。